

# 小林香里 *Piano* ブラームス・シリーズ



## “Brahms～A Life Story” vol.6



小林香里 (Pf)  
*Kaori Kobayashi*



白川毅夫 (Cl)  
*Takao Shirakawa*



花村恵理香 (Vn)  
*Erika Hanomura*



青木晃一 (Va)  
*Koichi Aoki*



猿渡 輔 (Vc)  
*Tetsuka Saranatori*

クラリネット三重奏曲 イ短調 作品114

*Trio für Klarinette, Violoncello und Klavier a-moll Op.114*

4つのバラード 作品10

*4 Balladen Op.10*

ピアノ四重奏曲第3番 ハ短調 作品60

*Klavierquartett Nr.3 c-moll Op.60*

2024.

2月1日(木)

19:00開演 (18:30開場)

全席自由 4,000円

ムジカーザ

小田急線・東京メトロ千代田線(代々木上原駅)東口より徒歩2分

チケット予約  
お問い合わせ

ビーフラット・ミュージックプロデュース  
03-6908-8977  
インターネットチケット予約  
<https://www.bflat-mp.com>



後援

日本ブラームス協会  
公益社団法人日本演奏連盟  
桐朋学園音楽部門同窓会



# 小林香里 Piano ブラームス・シリーズ

## “Brahms～A Life Story” vol.6

《ピアノ三重奏曲第3番》小林は弦楽器をたてつつもピアノとして大胆に主張していた。

《クラリネットソナタ第2番》両者が渾然一体となった素晴らしい演奏だった。

《ピアノ四重奏曲第2番》4人のエネルギーが集中した第4楽章の盛り上がりは素晴らしい。

(ムジカノーヴァ5月号)

### 最終回に寄せて

19才20歳の頃、人生の苦澁が滲むブラームスの晩年の作品117を弾くことになり、どうしたら「それらしい音」が出るのか、悪戦苦闘すること数ヶ月。その手がかりを求めて留学したようなもので、以来、「好きな作曲家はブラームス」と言い続けてウン10年。人並みに人生経験は積んだけれど、シリーズ最終回を迎えて it comes full circle ～ぐるりと巡った環が完結した、と言えるか、どうか。



### 小林 香里 [ピアノ] Kaori Kobayashi, piano

桐朋学園大学出身。旧モーツァルテウム音楽院(現モーツァルテウム音楽大学)修士課程修了後、文化庁芸術家在外研修員として英国王立音楽大学研究科修了。ピアノを真下良子、寺西昭子、C.リースケ、H.ライグラフ、I.ザリツカヤの各氏に、室内楽をF.アンドリエフスキー氏に師事。フィナーレ・リグレ国際コンクール銀メダル受賞、かやぶき音楽堂ピアノデュオ連弾コンクール入選。

カンタベリー音楽祭をはじめ英欧各地でリサイタル、ラジオ・スイス・ロマンダ出演。バーデン・バーデン・フィルとブラームスのピアノ協奏曲第1番独演。「えんれんコンサート」、「第九と皇帝」、NHK「FMリサイタル」、「晴れのコンサート」(東海テレビ主催)等に出演。「シューマン(謝肉祭)」では、作品の軸となる激しさや輝きを大胆に描き分け、随分豊かに表した。(音楽の友08年3月号)、ショパンをテーマにした「夜はやさし」シリーズでは「淡い情懐に落ち込み、音の色彩の繊細な変化は、多様なグラデーションをもたらす」(ムジカノーヴァ10年10月号)と評された。15年にはラフマニノフ&ドビュッシー前奏曲連続演奏会、19年にブラームス・シリーズを始動。近年は放送翻訳者としても活動している。

### 白川 毅夫 [クラリネット]

桐朋学園大学音楽学部卒業後、北西ドイツ音楽大学デトモルト卒業。帰国後20回のリサイタルを開催。国外ではタイ・バンコク各地をツアーしTV出演。ドイツ・ワイマルルゲーテ四重奏団との共演で好評を博す。また、新劇の舞台で演奏ソリストとして紀伊国屋ホールに出演。その他、NHK-FM、Music Birdに出演。CD3タイトルを出版。近年では、アンサンブル等の作曲・編曲を手掛け、米国、ベルギー、オランダ De Haske社より作品を出版。一般社団法人日本クラリネット協会理事、日本演奏連盟会員。

### 青木 晃一 [ヴィオラ]

桐朋学園大学、ケルン音楽大学及び、同大学院修士課程に学ぶ。2011年、ハイリゲンベルク国際音楽祭(ドイツ)にて最優秀演奏家賞を受賞。2016年、文化庁/日本演奏連盟主催 新進演奏家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ SAPPORO11に出演。ソリスト、室内楽者としてドイツを中心にヨーロッパ各地で活躍。完成度の高い演奏技術と豊かな音楽性に裏付けされた演奏に定評がある。ヴァイオリンを藤井たか子、東儀暁、ヴィオラを岡田伸夫、ライナー・モック、マッシモ・パリスの各氏に師事。現在、札幌交響楽団副首席ヴァイオリン奏者。札幌大谷大学非常勤講師。

### 花村 恵理香 [ヴァイオリン]

東京生まれ。江原俊敏・アンジェラ関氏に師事。全日本学生音楽コンクール入賞。桐朋学園高校・大学卒業後渡米。英国王立音楽大学にてR・フレンド氏のもとで研鑽。帰国後、数々のリサイタルや室内楽のコンサートに出演し、美しい音色や音楽性で高い評価を得る。

ソリストとして、プラハ放送交響楽団、ワルシャワ交響楽団、ベルリン・シンフォニエッタ、ソフィアフィルハーモニー管弦楽団、西ポヘミア交響楽団、ルセフォルハーモニー管弦楽団等と欧州各地で協演。2007年よりピアノのJ・デームス氏と国内で度々共演しており、2015年東京文化会館におけるデュオコンサートは好評を得た。2017年ファーストアルバム「ツィガナーヴァイオリン名曲集」をリリース、各誌にて優秀録音賞に選ばれる。

### 猿渡 輔 [チェロ]

千葉県出身。幕張総合高校音楽科を経て、東京音楽大学、同大学院科目等履修音楽研究科を修了。サントリーレインボー21デビューコンサート、チェロコンングレジャパン等に出演。アラシギルバート、友友直人の両氏が芸術監督を務める音楽祭MMCJ、アフィニエの音楽祭など国内の様々な音楽祭に参加。2008年、札幌交響楽団に入団。2012年、同団と協演。2014年より劇団新虎奏者を務め、現在ソロ、室内楽においても活動している。チェロを佐久間豊治、堀了介、ドミトリー・フェイゲン、また室内楽を、大野かおる、河合創子、堀了介の各氏に師事。

## 全6回プログラム

※演奏の順序は変更になることがあります

第1回 2019年4月3日(水)午後7時  
ピアノ・ソナタ第1番 Ⅷ長調 作品1  
ヴァイオリン・ソナタ第1番 Ⅷ長調 作品78  
ホルン三重奏曲 変ホ長調 作品40

第2回 2020年2月6日(木)午後7時  
チェロ・ソナタ第1番 ホ短調 作品38  
ヴァイオリン・ソナタ第2番 Ⅱ長調 作品100  
ピアノ三重奏曲 第1番 Ⅷ長調 作品8

第3回 2021年1月4日(月)午後7時  
チェロ・ソナタ第2番 Ⅷ長調 作品99  
ヴァイオリン・ソナタ第3番 作品108  
ピアノ三重奏曲 第2番 Ⅷ長調 作品87

第4回 2022年2月9日(水)午後7時  
6つの小品 作品118  
クラリネット・ソナタ第1番 Ⅷ短調 作品120-1  
ピアノ四重奏曲 第1番 Ⅷ短調 作品25

第5回 2023年2月8日(水)午後7時  
クラリネット・ソナタ第2番 変ホ長調 作品120-2  
ピアノ三重奏曲 第3番 Ⅷ短調 作品101  
ピアノ四重奏曲 第2番 Ⅱ長調 作品26

第6回 2024年2月1日(木)午後7時  
クラリネット三重奏曲 Ⅱ短調 作品114  
4つのバラード 作品10  
ピアノ四重奏曲 第3番 Ⅷ短調 作品60